



みはま 議会だより

3月議会
第1回定例会
第131号

CONTENTS【目次】

- 委員会報告 3
- 町政に問う！ 4
- こんな質問がありました 12

平成30年(2018年)4月25日

平成30年度予算

61億8千万円を可決

3月定例会は、3月6日から19日までの14日間の会期で開き、報告1件、条例の制定、平成29年度一般会計等補正予算及び平成30年度一般会計・特別会計予算など、議案27件、諮問1件について審議を行いました。
 なお、一般質問は7議員が行いました。

人事

人権擁護委員

美浜町大字吉原

六八三番地

三上 良章

美浜町大字和田

一一三八番地の二七六

田中 紀子

平成30年度

わが町の予算

一般会計



37億5,600万円

特別会計

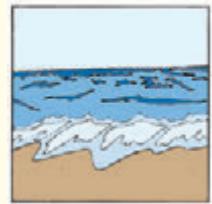
国民健康保険のお金



9億6,300万円

特別会計

和田、入山・上田井の下水道のお金



7,500万円

特別会計

浜ノ瀬、新浜、吉原、田井畑、本の脇の下水道のお金



1億7,700万円

特別会計

介護保険のお金



8億2,900万円

特別会計

後期高齢者医療費のお金



2億1,200万円

水道事業会計

上水道のお金



1億7,600万円

委員会報告

文教厚生常任委員会

松原小学校

授業参観と共育ミニ集会

視察

2月8日、松原小学校の「授業参観」「共育ミニ集会」を視察。

授業参観では、各学年それぞれに趣向を凝らしたテーマで、調べたことや、楽器演奏などを発表。1年生では演奏発表と朗読、特に演奏発表では、リズムもよく取れ、生徒の心がひとつに集中し、練習の成果がよく伝わってきた。

3年生は、「昔の道具」をテーマに、写真を使いながら日用道具を調べて発表をしていた。

6年生では、「進歩」と題し、「つながり」「思いやり」「成長」「言葉がけ」「人生」「未来」「あき

らめない」「積極的」など、各自のテーマで自分の思いを作文にして発表していた。

6年間の成長が目に見えてわかるような作文だった。

保護者も楽しそうに各クラスを参観していた。

共育ミニ集会では、「スマホ・ケータイ安全教室」と題し、4、5年生、保護者、地域、学校関係者、教職員を対象に、NTTドコモより講師を招いた講演を視察。

スマホ利用のルールやマナー、SNS等の問題は子供達にとって直面する課題だ。

現在の4、5年生ではほとんどインターネットを利用したことがあるとのこと、インターネットとはどのようなものか、どのようなことができるのか、ネット上の「ミユ



二ヶーションツールの種類と特徴、個人情報取り扱いなど、生徒や大人にわかりやすく説明していた。

度々、社会問題として取り上げられる等、現在の子供を取り巻く環境が複雑に変化している中、家庭でネットやスマートフォンについて十分話し合い、適切に利用してもらうことの大切さを今回の視察で改めて思った。

委員長 龍神初美

議会運営委員会

町施政評価表をまとめる

議会運営委員会では、平成24年議会基本条例設置後に着手した「美浜町施政評価表」を町執行部の協力を得て、本年度も取りまとめた。

その内容は、

①町長の2期目の所信表明より27年度から29年度までの年度ごとの結果。

②29年度の重要施策の結果。

③30年度の重要施策。

④議会活性化に向けた29年度の取り組み結果。

⑤議会活性化に向けた30年度の取り組み目標。

⑥30年度の議会からの重要施策。

の6項目である。



①から③までは町執行部に依頼し、④から⑥は議会の取り組みであり、委員会を3回開催し、各委員からの意見を集約したものである。

なお、⑤に関しては本年度半ばに委員会を開催して、その取り組み内容の検証を行う。

委員長 鈴木基次

町政に問う!

一般質問 7議員が登壇

1 谷 重幸 議員 5ページ

- 日高港浜ノ瀬地区港湾計画変更と海岸侵食・高波対策
- わが町の地方創生事業

2 龍神 初美 議員 6ページ

- インフルエンザによるひまわりこども園閉鎖について

3 鈴川 基次 議員 7ページ

- 「県道御坊由良線」の改良促進に向けての現況は
- 施政方針から

4 北村 龍二 議員 8ページ

- 町における防災と事業継続計画のあり方について
- 我が町における太陽光発電パネルの環境への影響は

5 田淵 勝平 議員 9ページ

- 学校における防災教育の強化
- 地方創生への取り組み
- 行政評価・PDCAサイクル

6 繁田 拓治 議員 10ページ

- 学校司書について
- 教職員の長時間労働について

7 中西 満寿美 議員 11ページ

- 子育て支援策の充実を
- 防災対策について
- 第7期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画について

一般質問



谷 重幸 議員

質問 「高波・侵食」抜本的対策は

答弁 平成30年度概算要求、平成31年度事業初年度へ

質問 港湾計画変更等、

現在、行政手続きが主であり、今後、抜本的対策に向けてと理解しているが、現在の時間の使い方を見れば、不満を覚える住民がいることも当然だ。

改めて今後のスケジュール、対策があればお聞きしたい。

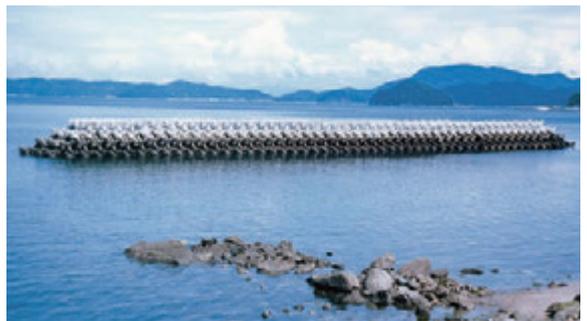
町長 来る3月23日に和歌山県地方港湾審議会において、変更が審議される。

30年度には抜本的対策となる離岸堤の建設に向け国への概算要求を行うと県より伺っている。

31年度が事業初年度となり測量、設計が県により実施されるものと予想している。

質問 これまでの経緯、浜の現状をとってみても住民の声は「早く」ということだ。

予算の都合もあるが、着工までの時間、着工から完成を迎える頃と考えると、対策全体として、



▲離岸堤（写真はイメージ）

本当にそれだけのタイムスパンをかけていくのか。

町長 議員と考えは同一だ。

予算の獲得と共に、前倒し出来ればと思っ

ている。地域住民に寄り添い行政を進めて参りたい。バックアップもお願いしたい。

質問 離岸堤について、一般的なブロックでイメージすると、果たしてそれでもつのかというのが地元住民も漁業者も共

通の認識だ。

現場の波の威力を考えると、景観も含めた中で、あまりに頼りなく感じるがどうか。

産業建設課長 具体的なサイズ、断面的なものはまだ示されていない。

基本設計業務あたりで決まってくるものと思うが、どのくらいのものか、うなものであるところは、担当課として県に働きかけた。

質問 前浜の姿がどうあるかという事は、波の脅威と同じくらい地元住



▲荒れたままの前浜

民にとっては大きな問題だ。

景観という意味においても前浜の整備なしにこの問題の解決はない。

本格的な話を県に上げていただきたい。

町長 住民の気持ちを考えればその通りである。

でき得る限り県に、いろんな形で要望してまいりたい。

副町長 単に波の対策ということだけでは解決できないということで、今後の事業の中で町の要望として伝えたい。

一般質問



龍神 初美 議員

質問

保育事業は住民サービスの一環と捉えるが

答弁 苦渋の選択だった

質問 ひまわりこども園で1月15日～18日までの4日間、インフルエンザによる園閉鎖が初めて行われた。

園閉鎖に至った経緯は。

教育長 今冬は全国的にインフルエンザが流行し、町内においても同様で、ひまわりこども園も感染拡散防止のために園閉鎖を行った。

質問 保護者の皆さんは対応に苦労されたとの声を聞いた。

働ける条件整備をすることも行政の務めであるともいわれる昨今、その配慮は考えたのか。

教育長 長時間保育児に対する配慮を行うことは当然だが、感染リスクと保育の確保の両観点から鑑みた結果、閉鎖措置を採った。

質問 午後から園閉鎖にすると、急遽連絡があったと聞いたが、それに對し保護者の対応状況は。

教育長 園の対応に否定的な意見は確認していな

いが、保護者の中には急な対応に戸惑ったり、苦慮したのではないかと推察に難くない。

今後はその都度、可能な限りの保育の確保を行うことを基本としながらも、緊急事態には臨機応変に対応していく。

質問 働く保護者のために、せめて5時まで預かるといふ選択肢はなかったのか。

教育長 5時まで預かる間にインフルエンザが移っていく可能性がある。こつこつ場合は急遽といつことが多く出てくる。

質問 保育事業は住民サービスの一端だと捉えるが、町長の見解は。

町長 子ども達を健やかに育てていくため、保育事業は不可欠なもの。

住民サービスの中でも重要な事業と認識している。

質問 長時間保育児の保護者の実態は、極めて複雑多岐にわたっている。保護者側に立った見解

は。

町長 今回の判断は、私はベストと思っている。感染の可能性もある中で、子どものこと、保護者のこと、色々な形を考

えて、今回は苦渋の選択だったと認識している。

保育事業は福祉行政の中の大きな柱。

今後もでき得る限り閉鎖のないような形で、努めていきたいと思っ



一般質問



鈴木 基次 議員

質問 三尾県道海岸線の抜本的対策を

答弁 バイパス道路を視野に 国・県へ要望

県道御坊由良線の整備促進に向けて

質問 先日、美浜・日高・由良の3町で「県道御坊由良線整備促進協議会」の設立に合意したとこのことで期待したい。

その協議会のメンバーと活動内容、設立時期を伺う。

町長 各町長、議会の議長と建設関係の委員長、それに日高郡選出の県議会議員、区長会の代表者、民間からもバス会社とタクシー会社から数社、観光協会、併せて20人程度を予定している。

活動内容は、県への要望が主で、5月中旬に設立総会をと考えている。

質問 同線の中で、本脇・三尾間の県道整備は、三尾住民にとっては長年の課題であり、抜本的対策は悲願でもある。

町も防災3事業の一つとして、昨年末、国への要望を行っている。その中で「バイパス道



▲のり面崩落による全面通行止め（三尾県道海岸線）

路も視野に入れて」との要望について、その経緯と詳細は。

町長 この一、二年で三度、のり面崩落による全面通行止めが発生し、孤立状態と言ってよい程の深刻な事態であったと認識している。それを抜本的に解消す

るためには、もう一路線三尾地区に通じる道路が必要であり、バイパス道路を視野にと国や県に要望を行った。

質問 今後、地元熱意も必要になると思うが、早期実現に向けて尽力を願いたい。

産業建設課長 同じく同線、大三尾三差路から日高町田杭へ向けての道路拡幅の進捗状況は、用地買収は完了し、今年と来年の二年計画で、道路が狭い延長120m程の区間を、3mから5m幅に拡幅予定である。

地方創生事業の町の支援策は

質問 地方創生事業「日ノ岬・アメリカ村再生」

に、微力ながら地元住民の一人としてかわっているが、三尾の活性化につながる事業であり、メンバーは自主運営に向けて必死の思いで、智恵を出し合いながらがんばっている。

町として側面支援の内容は。

町長 事務的な手続きや補助金の活用方法、また移住推進や観光PR、人の集まる場所の提供などソフト事業を通して側面支援をしていきたい。

中学校の部活動に外部指導員導入

質問 中学校に部活動指導員として、民間人の雇用を挙げているが、その詳細は。

教育長 中学校教員の部活動指導の過重負担が指摘されている。

一日二時間、週に三回程度の外部指導員一名の支援を計画している。

一般質問



北村 龍二 議員

質問 事業継続計画の状況は？

答弁 今後も精査、改良して取り組む

質問 大地震や津波発生後の復旧活動は、どのような手順で進めていくのか。

町長 本町が策定している全庁型事業継続計画では、南海トラフ巨大地震被害を想定し、平日の業務時間内と夜間休日の業務時間外を想定シナリオとしている。

津波から身を守るのが最優先、早期に登庁可能な職員のみが役場に参集し、災害対策本部を設置する。

質問 役場庁舎と下水道のみ策定しているが、他の分野の計画はないのか。

町長 地域防災計画、全庁型事業継続計画内に含まれていることもあり、独自策定には至っていない。

質問 庁舎及び下水道の計画策定後、検証した上で見直しはしているのか。

町長 早期の復旧を可能とするための事前計画、非常に大事な計画である。

現時点では、和歌山県の社会経済研究所の方にも精査、検証してもらっている。

今後も、改良を加えながら取り組んでいく。

太陽光発電の環境への影響は

質問 今までは、空いたスペースに太陽光発電パネルを設置し、有効活用を行う発電スタイル。最近では樹木を伐採し、切り開いてパネルを設置するスタイルが多くなってきたが、今後町として何らかの対策を取らなければならないと思うが。

町長 現状での指導等は難しい。県も30年度で太陽光発電事業の実施に関する条例を策定予定、50kW以上の施設に対して規制をすると言っている。

質問 豪雨時や崖崩れなどによる下流水路へ土砂などが、流入する恐れはないか。

いとはいえないが、その時の影響をどう考えているのか。

町長 県が指導、審査しているので影響はない。町は開発等について指導することは出来ない。何か影響が出たとすれば、所有者の責任である。

質問 太陽光パネルの設置を、当町独自の環境アセスメントに沿って適正に運用されるような、調和のとれた当町マニュアルが策定出来ると思うのだが。

町長 まずは、県の条例を見ながら今後検討していきたい。

質問 再度、今後を見据え、町独自で考えて欲しい。

町長 やると言いたいところだが、所有権、私権の問題。

県の条例化の動向も見えていきたい。



一般質問



田淵 勝平 議員

質問 人口減少に歯止めがかかるのか

答弁 何とかするのが地方創生



質問 地方創生は「まち・ひと・しごと創生」をキーワードに、魅力ある地方を築くことを目的とした政策だ。 当町の人口減少に歯止めがかかり、活力ある美浜町を築くことが出来なければ失敗だ。 今、町長はどのような期待をしているのか。

町長 私は、地方創生事業に地域活性化の活路を見出した。 特異な移民文化を持つ三尾での事業展開による地域活性化。 また、吉原公園における多世代交流、地元特産品の販売等による活性化、どの事業も住民のご協力をいただいた。

資源を最大限に活用し、人口減少に歯止めをかけ、雇用を創出し、地域を活性化し、魅力あふれる町を築いていくと期待している。



▶町における地方創生事業

質問 日本古来の話に「風が吹けばおけ屋が儲かる」という話があるが、どのような経過をたどって人口減少に歯止めがかかり雇用の創出を生むのか、分かりやすく説明願いたい。

町長 今、地方が疲弊している。 それを何とかするのが地方創生と認識している。

行政評価・PDCAサイクル

質問 施政方針、本年も「PDCAサイクルを回しながら検証していく」とのこと。

町長 29年度の結果が、どのように30年度につながっているのか。

町長 マイホーム取得支援事業やヒマワリ植栽事業などは効果が限定的という判断で廃止した。 その他の事業も、

質問 「所得の再配分」というものがある。

町長 本来、現金給付は国境を管理する国の仕事であり、我々が求めるべきはサービスの追求である。

町長 地方自治体が現金給付をする場合、継続しなければ不公平となる。

町長 予算審議もあるので絞るが、マイホーム取得支援事業、ヒマワリ植栽事業の当初のプランはどうだったのか。

町長 色々検討した結果、予算計上を見送った。

質問 私は、行政評価が大切と思うから取り組んできた。

町長 10回以上質問して、これが結論なら森下町長に行政評価は無理だ。

町長 今後も努力するのでご提言願いたい。

一般質問



繁田 拓治 議員

質問
幼児教育からの人材投資は必要！
答弁 私も同感！

学校司書

質問 今年度より学校司書を雇用していただいたが、勤務状態は。

教育長 町内各校2日ずつの巡回勤務を行い、図書室の整理、図書の修理、図書便りの発行、読み聞かせ等を行っている。

質問 効果をどう評価しているか。

教育長 各校から高い評価を得ている。

児童生徒の知的好奇心を誘発するようなものを作成や、配置の工夫を行い、小学校では読み聞かせも積極的にやっている。読書冊数は大きく向上してきている。

質問 今後、読書活動推進について留意すべきことは。

教育長 読書の質を向上させ、学力向上に寄与したい。

質問 幼児教育からの人材投資は、費用対効果が高いと言われているが。



▲図書の整理

町長 私自身も随分大事なことでないと認識している。

教職員の長時間労働

質問 教職員の長時間労働が問題になっている。

中学校では、84.9%が週60時間以上の残業、過労死ラインで働いていると言われる。

我が町の勤務時間の実態は。

教育長 小学校では少なからずあり、中学校では授業準備、生徒指導に加え部活動に時間がとられ超過勤務が目立つ。

質問 超過勤務の問題で、特に中学校では部活動と切っても切り離せない問題でもある。

実態は。

教育長 朝練習、放課後練習に加え、休日には大会や練習試合等がある。

苦手な部を担当する場合もあり指導に苦慮する場面も見受ける。

質問 教職員には、基本的に残業手当はない。

昭和40年頃からの調整手当のみだ。

現在の残業は、5倍以上に増えている。

その認識と改善策は。

教育長 会議時間を縮減したり、週1回以上の休日を設定したり、管理職が勤務実態を把握し指導に努めている。

質問 部活動の指導ができる教職員が不足しているがどうか。

教育長 平成30年度から外部指導者を招いて、教員の負担軽減をはかる。



▲部活動の風景

一般質問



中西満寿美 議員

質問 耐震化率の目標95%を達成するには

答弁 まず耐震診断に力を入れる

防災対策

質問 被害を少なくするため住宅の耐震化が重要。

現在の耐震化率と、町の目標は。

町長 49.4%。目標は国・県に準じて95%。

質問 平成27年度、耐震化率48.5%からわずか0.9%しか延びていない。

3年後目標値を達成するため、どんな取り組みをするのか。

町長 まず耐震診断に力を入れる。

県建築士会と連携し啓発活動をしていく。

質問 少額でできる耐震ベッドやシェルターの設置は。

町長 県指定限定のため0件、設置件数が増えるよう、県指定仕様の拡充などを県に要望していきたい。



▲紀州梅の郷救助隊 尾崎隊長による講演

子育て支援の充実を

質問 子ども医療費助成を18才まで拡げないのか。

町長 毎年約300万から400万が必要で難しい。

質問 実施していないのは日高管内で由良町と本町だけ。

国保のペナルティが未就学児まで廃止された。

その財源や、ふるさと納税を使ってできないのか。

町長 本町はトータル的に子育てしやすい町だ。拡げる考えはない。

質問 入学準備金を入学前に支給する自治体が全国で約5割、日高管内では4市町と増えている。

本町も実施しないのか。
教育長 従来どおり4月以降、保護者の申請をうけ支給する。

質問 転校したとか難しい問題があり入学前支給は考えないとのことだが、対象人数はどのくらいか。

教育長 平成29年度、小学校3名、中学校7名。
質問 そのくらいなら個別対応が可能ではないか。

教育長 数は少ないが、個別対応となると労力がかかる。

第7期介護保険

質問 介護保険料が5880円と60円アップに止まった。

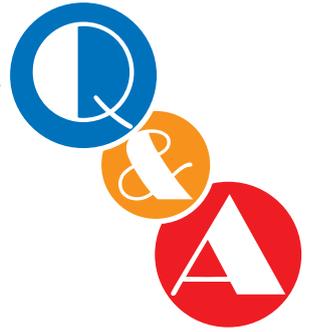
準備基金の全額1800万円取り崩しと、介護予防事業の成果だ。中でも、いきいき百歳体操が2年足らずでほぼ全町に広がった理由は。

町長 住民のニーズにマッチングして取り組んだこと、啓発の強化で住民が主体的に関わったこと等が考えられる。



▲体操の後、お茶しましょう

ありがとうございました!!



ふるさと納税

Q 29年度1,600万円のうち、純利益はいくらになるのか。

A 返礼品は50%、手数料を15%〜20%引くと4百数十万円。

Q アメリカ村レストランでの食事、ゲストハウスへの宿泊等を返礼品としてはどうか。

A 一つのアイデアとして承っておく。

Q カナダ、デンマーク旅行の返礼品としての詳細は。

A そういう打ち合わせを現在進めている。

中小企業・小規模企業条例

Q この条例によって町の取り組みに変化はあるのか。

A 現時点では具体的になく、これからですね。

Q 執行部としての考えは。

A 条例をつくることだ

けで終わらないようにしたい。

地方創生事業 カナダミュージアム・アメリカ村ゲストハウス・アメリカ村レストランの設置及び管理に関する条例

Q 団体とは施設ごとに協定を交わすのか。

A 全て受けていただけない場合は個別となる。

Q 協定の中身はどのようなものか。

A 業務内容や期間、責務の分担など細かいものとなる。

産品コーナー・多目的室の設置及び管理に関する条例

Q 吉原運動公園内によく似た施設が並んでいるが詳細を。

A 県道から見て、右が産品コーナー、左が多目的室。

Q 多目的室にはどのようなものを置くのか。また交付金の対象か。

A 機器については4月以降となっているため、確定していない。

Q 今後のタイムスケジュールは。

推進交付金の対象になる。



▶アメリカ村レストラン



▲カナダミュージアム



▲多目的室

A 7月ぐらいにはオープンしたい。

Q 産品コーナー、アンテナショップとの兼ね合わせは。

A 両方やっていきたい。

こんな質問が

繰越明許費

Q トータルで3億円を超えるが少し多いのではないか。

A それぞれの事業に繰り越しに至った経緯がある。ご理解いただきたい。

Q 地方創生事業、繰り越しが出る理由は。

A 工事が3月いっぱいまでかかる為、その後の備品の運搬等の繰り越しになる。

Q 田井畑地区津波避難施設実施設計業務の繰り越しの説明を。

A 再検討という話を地区に説明したところ、地区要望も出している経緯等を聞き、これから協議の場を設けて結論を出していく。

Q つくるといふ考えでよいのか。

A 地区の要望に沿った方向で検討する。

三尾離着陸場

Q 着工の時期はいつになるのか。

A 準備が整い次第着工する。

A 平成30年度内には完成したい。

新浜集会場建設敵地選定業務

Q 具体的に適地は決まっているのか。

A 何ヶ所か候補地はある。規模、メリット、デメリットを絞り出していきたい。

ひまわり植栽業務・婚活サポート事業・マイホーム取得支援事業

Q 今年度予算にないが、なぜやめたのか。

A ひまわり植栽業務については、風水害等考える中で今回はやめた。

婚活サポート事業については、費用対効果を考えると続けるのは難しい。マイホーム取得支援事業は、土地の安い所との

差分を補助できればよいが、現状では考えづらい。今後は空き家バンクや移住推進の方向でいく。

出生祝い金及び子育て応援給付金

Q どのような効果が上がっているのか。

A 数字として横ばいである。

Q アウトカムの話をしていたください。

A 横ばいということは、現状を考えればひとつの成果が出ていると考えている。

Q 所得制限を設けてはどうか。

A 一度検討したい。

日高病院負担金

Q 歯止めをかけなければと思うがどうか。

A 名誉医師や囑託医を減らすと聞いている。

Q 黒字化できると

いっことか。

A 平成33年には財政状況がよくなると聞いている。

Q 単年度収支で＋10にこぎつけられるのか。

A 黒字になるとは言えない。

Q 赤字の幅が減るといっことか。

A 各市町の負担金が減るといふ意味で、財政状況がよくなるということである。

煙樹ヶ浜フェスティバル

Q なぜ予算が増えたのか。

A 花火や照明設備の増設分。



▶ 昨年の、煙樹ヶ浜フェスティバルでの花火

満開の桜の下で...



浜ノ瀬区自主防災会・自衛隊 合同避難訓練



あなたの意見をお待ちしております

議会に対するご意見、あるいは「議会だより」を読んだ感想など、何でも結構です。
あなたの声を議会事務局までお寄せください。

《連絡先》

美浜町議会事務局
TEL 23-5544 (FAX兼用)
mail gikai@town.wakayama-mihama.lg.jp
URL <http://www.town.mihama.wakayama.jp/bunya/mihamachogikai/>



議会中継についての
お知らせ
本庁舎1階ロビー
と中央公民館におい
て、議会中継が視聴
できます。
ぜひ、ご覧ください。